

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目 次

資料 1	令和 6 年度私立大学・短期大学等入学志願動向	・ ・ ・ p. 2
資料 2	要望書（香川県）	・ ・ ・ p. 9
資料 3	第八次香川県保健医療計画（抜粋）	・ ・ ・ p. 10
資料 4	要望書（香川県臨床心理士会）	・ ・ ・ p. 16
資料 5	要望書（香川県公認心理師会）	・ ・ ・ p. 17
資料 6	中国・四国地方の臨床心理士及び公認心理師養成大学院に対する 採用意向調査	・ ・ ・ p. 18
資料 7	「JREC-IN」サイトによる心理系大学研究職の公募状況	・ ・ ・ p. 20

令和6(2024)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

この「私立大学・短期大学等 入学志願動向」は、日本私立学校振興・共済事業団が令和6（2024）年度に実施した「学校法人基礎調査」から、入学定員、志願者数及び入学者数等を集計し、入学定員充足率や志願倍率等の動向を規模別、地域別、学部系統別にまとめたものです。

本報告書は、平成11年度に刊行して以来、本年度で26年目を迎えました。この間、私立大学・短期大学等は、人口動態、社会や学生のニーズの変化に対応し、学部・学科の見直しを行ってきました。私学事業団が私立大学等の学部・学科の動向や入学定員充足率等の推移を毎年度継続して分析し、広く公表することは、学校法人の今後の経営改善・教育改革の一助となるものと考えています。

令和6年度は、18歳人口が前年度に比べ約3.4万人減少しました。18歳人口の減少期にある中、学生募集の取組みにさらなる工夫・努力が必要となります。

志願者数、入学者数の動向は、学校法人の経営を考えるうえで重要な要素の一つです。本報告書が学校法人をはじめ私学関係者の皆様に広くご活用いただけることを願っております。

最後に、お忙しい中、「学校法人基礎調査」にご協力くださいました学校法人の皆様に厚く御礼を申し上げます。

令和6（2024）年9月

日本私立学校振興・共済事業団

私学経営情報センター 私学情報室

令和6（2024）年度

私立大学・短期大学等 入学志願動向 目次

集計の概要	1
-------	---

大 学

I 大学の概況

1. 志願者数等の増減状況	2
2. 志願倍率、合格率、歩留率、 入学定員充足率の状況	3

II 区分ごとの動向（大学）

1. 規模別の動向（大学）	4
2. 地域別の動向（大学・学校別）	8
3. 地域別の動向（大学・学部別）	14
4. 学部系統別の動向（大学）	20
5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）	25

III 収容定員ごとの動向（大学）

1. 全体の動向（大学）	28
2. 地域別の動向（大学）	29

IV 入学定員充足率等の推移（大学）

短期大学

V 短期大学の概況

1. 志願者数等の増減状況	36
2. 志願倍率、合格率、歩留率、 入学定員充足率の状況	37

VI 区分ごとの動向（短期大学）

1. 規模別の動向（短期大学）	38
2. 地域別の動向（短期大学・学校別）	42
3. 地域別の動向（短期大学・学科別）	48
4. 学科系統別の動向（短期大学）	54
5. 主な学科別の志願者・入学者動向（短期大学）	58

VII 入学定員充足率等の推移（短期大学）

大 学 院

VIII 大学院の概況

1. 志願者数等の増減状況	64
---------------	----

IX 区分ごとの動向（大学院）

1. 研究科系統別の動向（大学院）	66
2. 主な研究科別の志願者・入学者動向（大学院）	68

集 計 の 概 要

1. 調査基準日 各年度5月1日
2. 調査対象校 私立大学・短期大学（株式会社が設置する学校は除く）
3. 集計の方法 令和2年度から令和6年度に実施した「学校法人基礎調査」から、私立大学・短期大学の入学者数等に関する項目のデータを集計した。
4. 集計値について

令和5年度の集計値については、『令和5(2023)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向』において速報値として公表しているが、これらの数値については、今年度の入学志願動向の数値をもって確定数とする。

また、令和6年度の集計値については、速報値につき修正の可能性がある、次年度の入学志願動向の数値をもって確定数とする。

5. 集計学校数

単位：校（ ）内は調査対象校数

年度	大学	短期大学	大学院
R2	593 (599)	291 (307)	472 (475)
R3	597 (605)	286 (303)	479 (483)
R4	598 (606)	279 (297)	482 (486)
R5	600 (607)	276 (289)	485 (488)
R6	598 (608)	272 (284)	487 (490)

※集計学校数は、調査対象校から通信教育部のみを設置する学校及び募集を停止している学校を除いた学校数である。

※大学院のみを設置する学校は「大学院」で集計している。

6. 算出方法等

〔各比率〕

○志 願 倍 率（志 願 者 数÷入 学 定 員）

○合 格 率（合 格 者 数÷受 験 者 数）

○歩 留 率（入 学 者 数÷合 格 者 数）

○入学定員充足率（入 学 者 数÷入 学 定 員）

※比率の表記は小数点以下第3位を四捨五入したものである。

〔入学定員充足率 100%未満の学校数〕

入学志願動向の状況を示すため、認可されている（又は届出を行っている）入学定員に対する入学者数の割合を集計したもの。定員に対して1名でも満たなければ未充足校としてカウントしている。

なお、未充足であることが、直ちに経営状況が悪化していることを示すものではないことには留意が必要。

7. 系統区分について

学部（学群を含む）、学科及び研究科（学府を含む）の系統は、当事業団より発刊の『今日の私学財政（大学・短期大学編）』と同様に区分している。詳細は、27 ページ、59 ページ、71 ページに記載している。

Ⅷ 大学院の概況

1. 志願者数等の増減状況

(1) 修士課程及び博士前期課程、専門職学位課程

R6年度	R5年度	増 減
集 計 学 校 数	473 校	0 校
入 学 定 員	43,505 人	351 人 (0.8 %)
志 願 者 数	78,221 人	8,879 人 (12.8 %)
受 験 者 数	73,149 人	8,101 人 (12.5 %)
合 格 者 数	43,896 人	2,319 人 (5.6 %)
入 学 者 数	38,234 人	2,033 人 (5.6 %)
志 願 倍 率	1.80 倍	0.19 ポイント
合 格 率	60.01 %	△ 3.91 ポイント
歩 留 率	87.10 %	0.03 ポイント
入学定員充足率	87.88 %	3.99 ポイント

(2) 博士課程及び博士後期課程

R6年度	R5年度	増 減
集 計 学 校 数	325 校	3 校
入 学 定 員	8,529 人	△ 51 人 (△ 0.6 %)
志 願 者 数	5,772 人	298 人 (5.4 %)
受 験 者 数	5,680 人	308 人 (5.7 %)
合 格 者 数	4,743 人	179 人 (3.9 %)
入 学 者 数	4,543 人	178 人 (4.1 %)
志 願 倍 率	0.68 倍	0.04 ポイント
合 格 率	83.50 %	△ 1.46 ポイント
歩 留 率	95.78 %	0.14 ポイント
入学定員充足率	53.27 %	2.40 ポイント

志願倍率＝志願者数÷入学定員，合格率＝合格者数÷受験者数，歩留率＝入学者数÷合格者数，入学定員充足率＝入学者数÷入学定員

《今年度の特徴》

- 修士課程及び博士前期課程、専門職学位課程の入学者数は、前年度から2,033人増加して38,234人となった。
- 博士課程及び博士後期課程の入学者数は、178人増加して4,543人となった。
- 法科大学院の入学者数は、85人増加して1,039人となった。
- 専門職大学院（法科大学院を除く）の入学者数は、425人増加して5,161人となった。

(2) 博士課程及び博士後期課程

全研究科を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（研究科系統区分については、71ページを参照）。
なお、集計研究科数が2以下の研究科系統区分は、「その他」の区分に含めた。

区 分	年 度	集計 研究科数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
医学	R5	30	1,513	1,102	1,089	1,042	1,025	0.73	95.68	98.37	67.75
	R6	30	1,493	1,083	1,067	1,019	993	0.73	95.50	97.45	66.51
	増減	0	△ 20	△ 19	△ 22	△ 23	△ 32	0.00	△ 0.18	△ 0.92	△ 1.24
歯学	R5	17	362	288	285	283	278	0.80	99.30	98.23	76.80
	R6	17	362	278	277	274	271	0.77	98.92	98.91	74.86
	増減	0	0	△ 10	△ 8	△ 9	△ 7	△ 0.03	△ 0.38	0.68	△ 1.94
薬学	R5	55	260	270	268	263	248	1.04	98.13	94.30	95.38
	R6	55	260	276	270	264	250	1.06	97.78	94.70	96.15
	増減	0	0	6	2	1	2	0.02	△ 0.35	0.40	0.77
保健系	R5	85	486	418	416	378	371	0.86	90.87	98.15	76.34
	R6	90	517	478	476	435	430	0.92	91.39	98.85	83.17
	増減	5	31	60	60	57	59	0.06	0.52	0.70	6.83
理・工学系	R5	114	1,689	808	791	747	703	0.48	94.44	94.11	41.62
	R6	114	1,682	838	830	800	760	0.50	96.39	95.00	45.18
	増減	0	△ 7	30	39	53	57	0.02	1.95	0.89	3.56
農学系	R5	23	184	117	116	113	108	0.64	97.41	95.58	58.70
	R6	26	196	135	134	130	125	0.69	97.01	96.15	63.78
	増減	3	12	18	18	17	17	0.05	△ 0.40	0.57	5.08
人文科学系	R5	128	1,290	609	585	460	437	0.47	78.63	95.00	33.88
	R6	127	1,286	624	604	453	430	0.49	75.00	94.92	33.44
	増減	△ 1	△ 4	15	19	△ 7	△ 7	0.02	△ 3.63	△ 0.08	△ 0.44
社会科学系	R5	247	1,487	753	737	507	467	0.51	68.79	92.11	31.41
	R6	246	1,474	745	725	482	453	0.51	66.48	93.98	30.73
	増減	△ 1	△ 13	△ 8	△ 12	△ 25	△ 14	0.00	△ 2.31	1.87	△ 0.68
家政学	R5	17	59	23	23	22	21	0.39	95.65	95.45	35.59
	R6	17	59	13	13	13	13	0.22	100.00	100.00	22.03
	増減	0	0	△ 10	△ 10	△ 9	△ 8	△ 0.17	4.35	4.55	△ 13.56
教育学	R5	16	108	72	72	41	39	0.67	56.94	95.12	36.11
	R6	16	103	121	120	75	72	1.17	62.50	96.00	69.90
	増減	0	△ 5	49	48	34	33	0.50	5.56	0.88	33.79
芸術系	R5	22	120	142	136	69	65	1.18	50.74	94.20	54.17
	R6	22	120	168	162	77	76	1.40	47.53	98.70	63.33
	増減	0	0	26	26	8	11	0.22	△ 3.21	4.50	9.16
その他	R5	125	1,022	872	854	639	603	0.85	74.82	94.37	59.00
	R6	125	977	1,013	1,002	721	670	1.04	71.96	92.93	68.58
	増減	0	△ 45	141	148	82	67	0.19	△ 2.86	△ 1.44	9.58
合 計	R5	879	8,580	5,474	5,372	4,564	4,365	0.64	84.96	95.64	50.87
	R6	885	8,529	5,772	5,680	4,743	4,543	0.68	83.50	95.78	53.27
	増減	6	△ 51	298	308	179	178	0.04	△ 1.46	0.14	2.40

(2) 博士課程及び博士後期課程

研究科名称の表記は、集計数3以上の研究科とし、集計数2以下は「その他」とした。

系 統 区 分 研究科名	集計研究科数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減
医学	30	30	0	1,513	1,493	△ 20	1,102	1,083	△ 19	1,025	993	△ 32	67.75	66.51	△ 1.24
歯学	17	17	0	362	362	0	288	278	△ 10	278	271	△ 7	76.80	74.86	△ 1.94
歯学研究科	13	13	0	278	278	0	243	224	△ 19	235	220	△ 15	84.53	79.14	△ 5.39
その他	4	4	0	84	84	0	45	54	9	43	51	8	51.19	60.71	9.52
薬学	55	55	0	260	260	0	270	276	6	248	250	2	95.38	96.15	0.77
保健系	85	90	5	486	517	31	418	478	60	371	430	59	76.34	83.17	6.83
看護学研究科	34	35	1	140	143	3	113	122	9	89	105	16	63.57	73.43	9.86
保健医療学研究科	5	8	3	19	27	8	15	34	19	13	29	16	68.42	107.41	38.99
生命科学研究科	5	5	0	43	47	4	29	42	13	29	40	11	67.44	85.11	17.67
医療(・)福祉(科)学研究科	4	3	△ 1	109	107	△ 2	110	113	3	106	108	2	97.25	100.93	3.68
保健学研究科	3	3	0	15	13	△ 2	21	10	△ 11	20	10	△ 10	133.33	76.92	△ 56.41
栄養科学研究科	3	3	0	7	7	0	5	5	0	4	5	1	57.14	71.43	14.29
その他	31	33	2	153	173	20	125	152	27	110	133	23	71.90	76.88	4.98
理・工学系	114	114	0	1,689	1,682	△ 7	808	838	30	703	760	57	41.62	45.18	3.56
工学研究科	43	43	0	388	390	2	128	134	6	101	118	17	26.03	30.26	4.23
理工学研究科	24	23	△ 1	663	644	△ 19	326	350	24	293	328	35	44.19	50.93	6.74
理学研究科	10	10	0	84	84	0	50	43	△ 7	49	37	△ 12	58.33	44.05	△ 14.28
情報科学研究科	4	4	0	18	18	0	5	7	2	5	5	0	27.78	27.78	0.00
その他	33	34	1	536	546	10	299	304	5	255	272	17	47.57	49.82	2.25
農学系	23	26	3	184	196	12	117	135	18	108	125	17	58.70	63.78	5.08
農学研究科	7	8	1	51	58	7	38	32	△ 6	35	31	△ 4	68.63	53.45	△ 15.18
獣医学研究科	3	4	1	23	26	3	28	27	△ 1	27	24	△ 3	117.39	92.31	△ 25.08
その他	13	14	1	110	112	2	51	76	25	46	70	24	41.82	62.50	20.68
人文科学系	128	127	△ 1	1,290	1,286	△ 4	609	624	15	437	430	△ 7	33.88	33.44	△ 0.44
文学研究科	60	60	0	894	894	0	394	400	6	284	269	△ 15	31.77	30.09	△ 1.68
心理学研究科	15	15	0	54	54	0	23	27	4	15	18	3	27.78	33.33	5.55
人文科学研究科	14	14	0	141	141	0	73	85	12	52	62	10	36.88	43.97	7.09
神学研究科	6	6	0	19	19	0	14	8	△ 6	4	4	0	21.05	21.05	0.00
外国語(学)研究科	6	5	△ 1	33	26	△ 7	17	6	△ 11	13	3	△ 10	39.39	11.54	△ 27.85
仏教学研究科	4	4	0	18	18	0	14	17	3	12	15	3	66.67	83.33	16.66
言語文化研究科	3	3	0	10	10	0	0	4	4	0	2	2	0.00	20.00	20.00
その他	20	20	0	121	124	3	74	77	3	57	57	0	47.11	45.97	△ 1.14
社会科学系	247	246	△ 1	1,487	1,474	△ 13	753	745	△ 8	467	453	△ 14	31.41	30.73	△ 0.68
経済(学)研究科	54	53	△ 1	307	300	△ 7	131	127	△ 4	73	71	△ 2	23.78	23.67	△ 0.11
法学研究科	46	46	0	313	313	0	149	114	△ 35	92	73	△ 19	29.39	23.32	△ 6.07
経営学研究科	29	29	0	118	118	0	53	50	△ 3	34	30	△ 4	28.81	25.42	△ 3.39
商学研究科	19	18	△ 1	155	152	△ 3	83	99	16	51	39	△ 12	32.90	25.66	△ 7.24
社会学研究科	16	16	0	110	110	0	71	67	△ 4	41	43	2	37.27	39.09	1.82
社会福祉学研究科	9	9	0	31	31	0	28	61	33	21	48	27	67.74	154.84	87.10
経営情報学研究科	7	7	0	27	27	0	10	12	2	7	10	3	25.93	37.04	11.11
政治学研究科	5	5	0	55	55	0	22	22	0	7	11	4	12.73	20.00	7.27
社会科学研究科	3	3	0	36	36	0	40	38	△ 2	19	22	3	52.78	61.11	8.33
その他	59	60	1	335	332	△ 3	166	155	△ 11	122	106	△ 16	36.42	31.93	△ 4.49
家政学	17	17	0	59	59	0	23	13	△ 10	21	13	△ 8	35.59	22.03	△ 13.56
人間生活学研究科	6	6	0	24	24	0	9	9	0	9	9	0	37.50	37.50	0.00
家政学研究科	3	3	0	9	9	0	5	1	△ 4	4	1	△ 3	44.44	11.11	△ 33.33
その他	8	8	0	26	26	0	9	3	△ 6	8	3	△ 5	30.77	11.54	△ 19.23
教育学	16	16	0	108	103	△ 5	72	121	49	39	72	33	36.11	69.90	33.79
教育学研究科	8	8	0	58	58	0	37	64	27	20	42	22	34.48	72.41	37.93
その他	8	8	0	50	45	△ 5	35	57	22	19	30	11	38.00	66.67	28.67
芸術系	22	22	0	120	120	0	142	168	26	65	76	11	54.17	63.33	9.16
芸術研究科	7	7	0	50	50	0	34	46	12	18	22	4	36.00	44.00	8.00
音楽研究科	6	6	0	28	28	0	47	57	10	20	23	3	71.43	82.14	10.71
その他	9	9	0	42	42	0	61	65	4	27	31	4	64.29	73.81	9.52
その他	125	125	0	1,022	977	△ 45	872	1,013	141	603	670	67	59.00	68.58	9.58
人間科学研究科	9	9	0	89	89	0	69	77	8	45	54	9	50.56	60.67	10.11
国際文化研究科	5	5	0	16	16	0	11	12	1	9	11	2	56.25	68.75	12.50
国際学研究科	5	5	0	16	16	0	6	11	5	6	7	1	37.50	43.75	6.25
健康科学研究科	4	5	1	17	19	2	13	14	1	13	14	1	76.47	73.68	△ 2.79
スポーツ健康科学研究科	4	4	0	25	25	0	48	36	△ 12	34	29	△ 5	136.00	116.00	△ 20.00
人間文化研究科	4	4	0	19	19	0	5	8	3	4	6	2	21.05	31.58	10.53
総合情報学研究科	4	4	0	19	19	0	12	19	7	11	17	6	57.89	89.47	31.58
国際関係(学)研究科	4	4	0	21	21	0	43	51	8	14	13	△ 1	66.67	61.90	△ 4.77
人間社会研究科	3	3	0	23	23	0	13	12	△ 1	12	10	△ 2	52.17	43.48	△ 8.69
スポーツ科学研究科	3	3	0	42	42	0	52	60	8	38	48	10	90.48	114.29	23.81
国際コミュニケーション研究科	3	3	0	18	18	0	39	58	19	11	10	△ 1	61.11	55.56	△ 5.55
総合理工学研究科	3	3	0	85	97	12	52	66	14	50	64	14	58.82	65.98	7.16
臨床心理学研究科	3	3	0	9	9	0	3	3	0	2	2	0	22.22	22.22	0.00
その他	71	70	△ 1	623	564	△ 59	506	586	80	354	385	31	56.82	68.26	11.44
合 計	879	885	6	8,580	8,529	△ 51	5,474	5,772	298	4,365	4,543	178	50.87	53.27	2.40

令和6(2024)年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向

令和6年9月

日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 私学情報室

〒102-8145 東京都千代田区富士見1-10-12

TEL:03-3230-7852～7854

E-mail:portrait@shigaku.go.jp

令和 7 年 1 月 9 日

国立大学法人香川大学長

上 田 夏 生 様

香川県知事 池 田 豊 人

香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程設置について（要望）

貴学が地域の教育・研究の拠点として、多数の優秀な人材を輩出し、産官学連携を通じて地域社会に多大な貢献を果たしておられることに、深く敬意を表します。

現在、わが国では 2040 年問題に対応できる地域社会の再構築が喫緊の課題となっており、本県では、人口減少や少子高齢化の加速と急激な社会経済情勢等の変化に対応すべく、令和 5 年 10 月に策定した「人生 100 年時代のフロンティア県・香川」の実現に向けて県と 8 市 9 町が緊密に連携し、健康づくりの推進やともに支え合う社会づくりの推進など各種施策を展開しています。その中で、がんなどの身体疾患や認知症などの精神疾患を持つ人とその家族が安心して暮らせる地域づくり、いじめや不登校、DV、虐待といった社会問題への対応には、心理支援の充実が不可欠です。また、災害時の心理支援の重要性も増しているなど、これらを担う専門職の確保が必要であることから、令和 6 年策定の第八次香川県保健医療計画において、貴学と連携し、保健医療分野での活躍が期待される公認心理師の養成及び資質の向上に努め、県内定着を図ることとしています。

貴学におかれましては、平成 14 年の教育学研究科学校臨床心理学専攻修士課程開設以来、多くの心理専門職を輩出され、令和 2 年には医学系研究科臨床心理学専攻修士課程を開設し、医学の素養を持つ汎用性の高い心理専門職を毎年 10 名以上輩出されています。修了生の多くは県内の医療、福祉、教育、司法の分野で活躍され、こころの健康づくりに重要な役割を果たされています。

地域の課題が多様化・複雑化する中で、こころの健康づくりを支える公認心理師や臨床心理士の資質向上に加え、地域の心理支援をリードする指導者人材の確保は急務です。特に、こうした人材には、理論的・実践的な研究能力を通じて課題を可視化し、エビデンスに基づいた解決策を企画立案する力が求められます。また、保健医療、福祉、教育分野の専門職や行政、地域住民と連携し、実効性のある取組みを推進するコーディネート力も必要です。

本県といたしましては、貴学に臨床心理学専攻博士後期課程が設置されることで、こうした高度な人材を県内で養成し、県内の課題解決に大きく貢献されるものと考えております。本課程の設置は、県民のこころの健康を維持・増進する高度人材育成の拠点を四国地方に築くものであり、本県全体の福祉向上にも大きく寄与するものです。

以上の理由より、貴学において臨床心理学専攻博士後期課程が早期に設置されることを強く要望いたします。

第八次香川県保健医療計画

令和 6 年 3 月
香 川 県

第八次香川県保健医療計画 目次

第1章 計画の基本的な考え方

第1節	計画策定の趣旨	1
第2節	計画の基本理念・取組みの方向性	3
第3節	計画の位置付け	5
第4節	計画の期間	6

第2章 香川県の保健医療提供体制の現状・課題と対策

第1節	地勢・交通及び人口等の状況	7
第2節	医療提供施設等の状況	14
第3節	保健医療圏と基準病床数	27
1	保健医療圏	27
2	二次保健医療圏の圏域設定の考え方	27
3	基準病床数	29

第3章 香川県地域医療構想

第4章 香川県医師確保計画

第5章 医療従事者の確保・養成

第1節	歯科医師	59
第2節	薬剤師	61
第3節	保健師	64
第4節	助産師	66
第5節	看護師・准看護師	68
第6節	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	72
第7節	歯科衛生士・歯科技工士	74
第8節	管理栄養士・栄養士	76
第9節	その他の医療従事者	77

第6章 香川県外来医療計画

第7章 疾病・事業ごとの医療連携体制の現状・課題と対策

第1節	県民本位の医療連携体制の構築	99
第2節	疾病ごとの医療連携体制の現状・課題と対策	108
1	がん	108
2	脳卒中	119
3	心筋梗塞等の心血管疾患	126
4	糖尿病	133
5	精神疾患	139
6	結核・感染症	153
7	臓器等移植	159
8	難病・小児慢性特定疾病	163
9	アスベスト	165
10	アレルギー疾患	166
11	今後高齢化に伴い増加する疾患等対策	167
第3節	事業ごとの医療連携体制の現状・課題と対策	168
1	救急医療	168
2	災害医療	175
3	へき地医療	181
4	周産期医療	187
5	小児救急を含む小児医療	191
6	新興感染症発生・まん延時における医療	194
第4節	在宅医療連携体制の現状・課題と対策	197
第5節	歯科医療連携体制の現状・課題と対策	203
第6節	医薬等に係る現状・課題と対策	209
第7節	医療安全対策・医療DXに係る現状・課題と対策	217

第8章 保健医療計画による事業の推進と数値目標の達成状況の評価

第1節	保健医療計画の周知と情報公開	225
第2節	数値目標の設定	225
第3節	保健医療計画の推進体制と役割	225
第4節	数値目標の進行管理	226

第9章 保健・医療・介護（福祉）の総合的な取り組み

第1節	保健・医療・介護（福祉）の連携・・・・・・・・・・・・・・・・	236
第2節	健康づくり運動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	238
第3節	食育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	240
第4節	医療費適正化・・・・・・・・・・・・・・・・	242
第5節	高齢者保健福祉対策・・・・・・・・・・・・・・・・	246
第6節	障害者保健福祉対策・・・・・・・・・・・・・・・・	248
第7節	母子保健福祉対策・・・・・・・・・・・・・・・・	252
第8節	保健福祉施設の機能強化・・・・・・・・・・・・・・・・	255

第10章 健康危機管理体制の構築

第1節	健康危機管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・	259
第2節	医薬品等の安全対策・・・・・・・・・・・・・・・・	262
第3節	食品の安全性確保対策・・・・・・・・・・・・・・・・	265
第4節	生活衛生対策・・・・・・・・・・・・・・・・	267

第9節 その他の医療従事者

1 臨床検査技師、診療放射線技師

医療の高度化・複雑化に的確に対応するため、臨床検査技師及び診療放射線技師の養成・確保と資質の向上が求められています。

【現状・課題】

- (1) 県内には、臨床検査技師の養成施設として大学臨床検査学科（入学定員20人）、診療放射線技師の養成施設として大学診療放射線学科（入学定員60人）が設置されています。
- (2) 平成29年4月からは、県立保健医療大学大学院に、臨床検査学専攻博士前期課程（入学定員3人）及び臨床検査学専攻博士後期課程（入学定員2人）を開設し、より高度で専門的能力かつ広範な知識を有する教育者・研究者を育成しています。
- (3) 医学の急速な進歩や高齢化社会の進展に伴い、臨床検査技師及び診療放射線技師の担当分野が専門化しており、各職種の質的充実が求められています。

【対策】

- (1) 臨床検査技師及び診療放射線技師の養成・確保
関係養成機関との連携を密にし、その理解と協力のもと、臨床検査技師及び診療放射線技師の養成確保に努めるとともに、卒業生の県内就業を促進します。
- (2) 臨床検査技師及び診療放射線技師の資質の向上
県臨床検査技師会等関係機関との連携により研修への参加を促進するなど、臨床検査技師等の資質の向上に努めます。

2 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師

健康づくりへの関心の高まりなどにより、それぞれの専門的な技能を有する職種への保健サービス面での需要が増大しています。

【現状・課題】

- (1) 県内には、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師養成所1ヶ所（入学定員90人）、柔道整復師養成所1ヶ所（入学定員60人）が設置されています。
- (2) 医学の急速な進歩や高齢化社会の進展に伴い、各職種の質的充実が求められています。

【対策】

高齢化社会の進展に伴い、需要の増加が見込まれることから、専門技術者の養成確保とともに関係機関の協力のもとに研修体制の充実に努めます。

3 ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）

日常的な健康管理や積極的な健康増進、疾病予防、治療、リハビリテーションに至る包括的、継続的医療の必要性が指摘されるとともに、高度化、専門化する医療の中で患者や家族の不安感の除去など心理的問題の解決を援助するサービスの充実が求められており、そうした業務に当たる専門職種の需要が高まっています。

【現状・課題】

- （1）県内には社会福祉士及び精神保健福祉士の養成施設として、大学社会福祉学科1校、専門学校1校が設置されています。
- （2）医療現場などにおいて、社会福祉、精神保健福祉の立場から患者の抱える経済的、心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る社会福祉士、精神保健福祉士の果たす役割に対する期待が増大しています。

【対策】

関係養成機関との連携を密にし、その理解と協力のもとに社会福祉士及び精神保健福祉士の確保に努めるとともに、その資質の向上に努めます。

4 公認心理師

【現状・課題】

- （1）公認心理師は、平成29年9月15日に施行された公認心理師法（平成27年法律第68号）により、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理に関する支援を要する者に対し、心理状態の観察、その結果の分析、相談、助言、指導その他の援助等を行う者とされています。
- （2）香川大学医学部では、平成30年（2018年）4月に、医学部としては全国初の臨床心理学科が開設されており、今後、公認心理師や臨床心理士など、幅広い分野で活躍できる心理援助職の育成が期待されています。

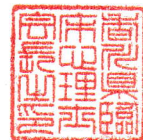
【対策】

香川大学医学部等とも連携し、保健医療分野での活躍が期待される公認心理師の養成及び資質の向上に努め、県内定着を図ります。

令和6年12月24日

国立大学法人香川大学長

上 田 夏 生 様

香川県臨床心理士会
会 長 岡 悦 子

要望書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より香川県臨床心理士会の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程の設置を計画されていると伺いました。

現在、地域社会における多様な課題（少子高齢化、不登校、いじめ、DV被害、災害時の心理支援など）に対応できる専門性と指導力を持つ心理職が求められています。そして、当会には、貴大学の教育学研究科学校臨床心理専攻及び医学系研究科臨床心理学専攻で修士号を修得し、臨床心理士となり地域で活躍している者がたくさんおります。貴博士課程設置により、現場で働いている社会人の学びの受け皿となり、今まで以上に、地域社会のニーズに対応できる高度な実践力と研究能力を有する人材が輩出されることになると存じます。そして、修士課程を修了された方々は、医療、福祉、教育、産業、司法矯正の分野のみならず、県内の臨床心理士や公認心理師の指導者として、県下の心理職全体の支援体制の向上と共に、地域住民や行政とのネットワークづくりに大きく寄与すると確信しております。

これまで貴大学の心理職養成は教育学部から医学系研究科へと引き継がれてきました。この度の貴博士後期課程の設置は、香川県に密着した教育拠点としての役割をさらに大きくするものと考えます。また、優秀な人材が香川県下に輩出されることによって、香川県における心理支援体制がさら高まるものと思われまます。

そのような理由より、貴大学におかれましては、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程の設置をぜひとも実現されて、当会との一層の連携促進が図れますよう要望させていただきます。

今後とも、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

令和 7 年 1 月 1 4 日

国立大学法人香川大学長

上 田 夏 生 様

香川県公認心理師協会

会 長 中 村 祐

**要望書**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より香川県公認心理師協会の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程の設置を計画されていると伺いました。

現在、地域社会における多様な課題（少子高齢化、不登校、いじめ、DV 被害、災害時の心理支援など）に対応できる専門性と指導力を持つ心理職が求められています。貴博士課程設置により、現場で働いている社会人の学びの受け皿となり、今まで以上に、地域社会のニーズに対応できる高度な実践力と研究能力を有する人材が輩出されることになるかと存じます。そして、修士課程を修了された方々は、医療、福祉、教育、産業、司法矯正の分野のみならず、県内の公認心理師や臨床心理士の指導者として、県下の心理職全体の支援体制の向上と共に、地域住民や行政とのネットワークづくりに大きく寄与すると確信しております。

これまで貴大学の心理職養成は教育学部から医学系研究科へと引き継がれてきました。この度の貴博士後期課程の設置は、香川県に密着した教育拠点としての役割をさらに大きくするものと考えます。また、優秀な人材が香川県下に輩出されることによって、香川県における心理支援体制がさらなる高まるものと思われまふ。

そのような理由より、貴大学におかれましては、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程の設置をぜひとも実現されて、当協会との一層の連携促進が図れますよう要望させていただきます。

今後とも、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

中国・四国地方の臨床心理士及び公認心理師養成大学院に対する採用意向調査

中国・四国地方の臨床心理士及び公認心理師養成大学院 18 校を対象に、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程から輩出する博士人材の採用に関する意向調査を実施した

実施時期は、2024 年 12 月から 2025 年 1 月で、Google Form で回答を求めた。

調査の説明文

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より香川大学医学部臨床心理学科にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、これまでに医学部臨床心理学科（定員 20 名）、医学系研究科臨床心理学専攻修士課程（定員 13 名）を設置しており、現在、医学系研究科臨床心理学専攻博士後期課程（以下、「本博士後期課程」）の設置（定員 2 名、令和 8 年 4 月設置予定）を計画しております。

本博士後期課程は、研究者コースと実践家コースの 2 つの履修モデルからなり、研究者コースは、公認心理師及び臨床心理士の修士課程の修了生の進学を想定したコースで、教育研究で即戦力となる研究者・大学教員を養成します。一方の実践家コースは、地域課題を研究テーマとして持った公認心理師・臨床心理士の社会人入学者を想定したコースで、博士号取得後に現場に戻って地域の心理職や他職種の指導者・リーダーを担う人材を養成します。

本博士後期課程のカリキュラムでは、次のような能力を有する人材を養成します。

1. 医学系研究科に設置されることを活かして、学部および修士課程から引き続き医学の素養を持つ臨床心理学の人材を養成します。
2. 学生自身が医学、看護学、工学、附属学校群、NPO 団体等との共同研究に参加する科目を履修し、他領域との共同研究を計画し、実行するスキルを有する人材を養成します。
3. 心理臨床相談室実習等で心理臨床活動の技術をさらに高めるとともに、事例発表、事例論文執筆を指導する科目、スーパーヴィジョンの方法や事例検討会での議論の方法を学ぶ科目を履修し、大学教員やスーパーヴァイザーに求められる指導力を有する人材を養成します。

このような背景から、本博士後期課程の修了生が実社会での役割を果たすことを想定して、採用の可能性についてお伺いしたくアンケート調査を実施しております。

大変ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、アンケートへのご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

質問項目

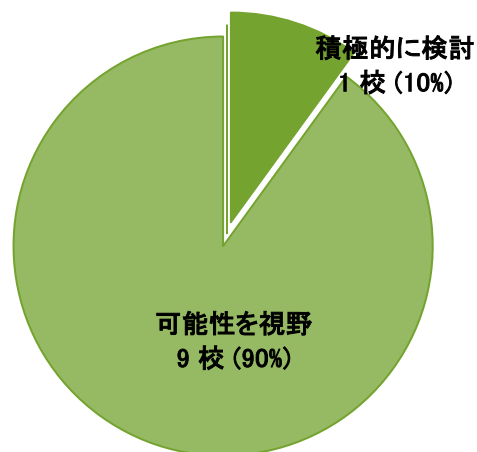
貴大学及び大学院における臨床心理学の教員の公募に際し、本学博士後期課程修了生の採用希望があった場合、以下のいずれに該当しますか。

回答の選択肢

「採用を積極的に検討する」、「採用の可能性を視野に入れる」、
「採用をあまり考えない」

結果

10 校から回答が得られた。採用意向の内訳は円グラフの通りであった。



中国・四国地方の養成大学院
(回答 10 校)

資料 7 「JREC-IN」サイトによる心理系大学研究職の公募状況

2024年10月16日	明治学院大学	助手	教育心理学
2024年10月16日	宮崎国際大学	講師-教授	教育心理学
2024年10月16日	関西医科大学	教授	心理学・行動学研究室
2024年10月15日	埼玉東萌短期大学	助教-教授	教育心理学、教育相談
2024年10月15日	清泉女学院大学	助教-教授	臨床心理学
2024年10月15日	福岡教育大学	助教-講師	教育相談
2024年10月11日	嵯山女学園大学	助教	学部・大学院臨床心理学領域の実習授業
2024年10月11日	弘前大学	教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年10月9日	旭川医科大学	助教相当	一般教育 学科目（心理学担当）
2024年10月9日	作新学院大学	准教授	臨床心理学分野
2024年10月8日	川村学園女子大学	専任助教	学部・大学院臨床心理学領域の実習授業
2024年10月8日	愛知みずほ大学	助教-教授	心理学分野
2024年10月7日	東洋大学	講師-教授	心理学分野
2024年10月7日	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	研究員（ポスドク）	臨床研究における心理評価
2024年10月7日	常葉大学	教授	大学院 修士課程（健康科学研究科臨床心理学専攻）
2024年10月3日	梅光学院大学	講師-教授	教育心理学、臨床心理学
2024年10月3日	川口短期大学	講師-教授	産業心理学
2024年10月1日	目白大学	講師-准教授	心理学・臨床心理学
2024年9月30日	一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター	研究員（ポスドク）	自殺統計に関する集計・分析
2024年9月30日	駒澤大学	教授	臨床心理学
2024年9月30日	京都光華女子大学	講師-教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月27日	新潟大学	准教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月26日	至誠館大学	教授	心理学
2024年9月26日	九州大学	教授	心理学
2024年9月25日	宮城学院女子大学	助教-准教授	スポーツ心理学
2024年9月24日	共立女子短期大学	講師-教授	心理学
2024年9月20日	東京大学	助教	メンタルヘルス
2024年9月20日	鹿児島大学	教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月20日	京都大学	准教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月18日	東海学院大学	講師-教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月19日	福島大学	講師-准教授	学部・大学院臨床心理学領域
2024年9月19日	埼玉学園大学	講師-教授	心理学
2024年9月17日	国際医療福祉大学	講師-教授	学部・大学院臨床心理学領域